

和火 2017 新企画
「和火 2017 寺町巡り～御朱印と寺宝の旅～」

●開催期間

平成29年9月28日(木)～10月9日(月・祝) 和火 2017 を含む12日間。

※和火 2017 開催日10月6日(金)～8日(日)は一部のお寺で夜も対応

●開催趣旨

宮津寺町の魅力を一層味わっていただくため、和火の3日間を含む9月末からの12日間を開催期間とし、改めて寺町の各お寺について情報発信するとともに、オリジナルの御朱印帳の販売や非公開寺宝の特別公開を通じたまち歩きを楽しんでいただく企画を実施するものです。

和火 2017 開催日は、一部夜間対応していただけるお寺もありますが、基本的にはお昼に寺町巡りをしていただく企画となります。

●寺町のお寺紹介

別添「宮津寺町-散策・拝観のすすめ-」の改変版を参照。

スマートフォン等にダウンロードしてご覧ください。(PDF ファイル)

(1)御朱印について

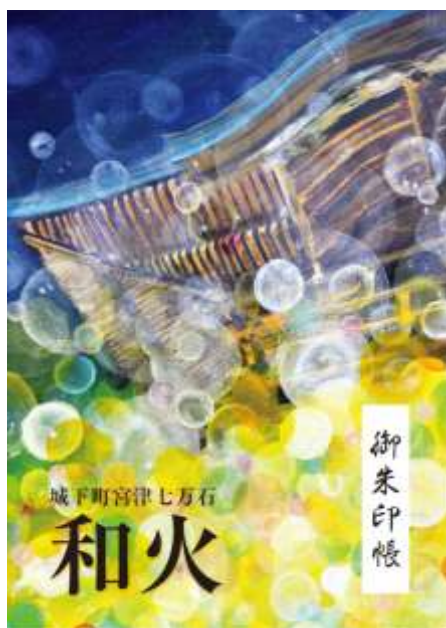
◆オリジナル御朱印帳販売

本企画に合わせて、和火 2017 のイメージポスターを表紙とした、オリジナルの御朱印帳を販売します。

お洒落な御朱印帳を持って、宮津寺町を散策してみませんか。

48 面ありますので、宮津寺町以外のお寺でも広くご利用いただけます。

①イメージ ※イメージと実物は異なる場合がありますのでご注意ください。



②サイズ等

- ・112mm×160mm(※よく使われる御朱印帳のサイズです。)
- ・面数 48(蛇腹式 24 折)

③販売箇所(3箇所)

販売箇所	販売日、販売時間	備考
宮津市役所観光定住課(別館3階)	平日 8:30～17:15 ★ただし、和火 2017 開催日の 10/6(金)は除く	和火(10/6～10/8 夜)、及び寺町巡り(9/28～10/9)終了後も、残数がある場合は、一定期間は販売継続します。
道の駅「海の京都宮津」観光交流センター	9:00～18:00 ★和火 2017 開催日の 10/6(金)～8 日(日)のみ、21:00 まで営業	
佛性寺総合本部	和火 2017 開催日の 10/6(金)～10/8(日) 18:00～21:00 ★7日(土)は 22:00 まで	和火 2017 開催日のみ。

④販売料金: 1部 1,500 円

⑤個数限定: 100 冊 ※一人当たりの購入数制限無しのため売切次第終了。

⑥デザイン:

京都府立宮津高校美術部の生徒が、「不思議な空間」をテーマに描いた「和火」の絵を御朱印帳の表紙、裏表紙に採用。和火 2017 ポスターイメージにも採用されたもので、和火の幻想的な光と荘厳な寺院の雰囲気とを上手く融合させ表現した作品です。

◆御朱印がいただけるお寺

栄照院、大頂寺、妙照寺、本妙寺、経王寺、国清寺、智源寺

※順不動

(2)非公開寺宝の公開寺(※順不動)

・栄照院 … 「釈迦涅槃図」

宮津市小川の西方寺と昭和 21 年に合併したのち、栄照院は 2 つの涅槃図を有することとなりました。合併以来、長年、普段公開しているものは西方寺の涅槃図でしたが、今回、栄照院の涅槃図を特別に公開いただけることとなりました。ぜひこの機会にご覧ください。公開場所は本堂内です。

※涅槃図

釈迦の入滅(にゅうめつ)の日(旧暦 2/15。現在の 3/15)に、釈迦の仏教の教えを説く法要である涅槃会(ねはんえ)が各お寺で開かれますが、その

際に、文字が読めない人でも教えを説けるようにと描かれたものが涅槃図で、お寺に一つは必ず保有されるものです。



・妙照寺 … 「釈迦大涅槃図」

畳6畳分もある大きな涅槃図です。延宝元年に描かれたもので作者は不明ですが、お釈迦様の周囲には菩薩や羅漢のほか、五十種を超える動物が死を悼む姿が極彩色で描かれた大作です。



「日蓮聖人涅槃図」

日蓮宗・法華宗の宗祖、日蓮聖人の入滅を描いた涅槃図です。江戸時代中期以前の彩色鮮やかなもので、本阿弥光悦の一門で後水尾天皇側近の絵師として活躍した「光荣」の作。



「日蓮聖人図」

日蓮宗を熱心に信仰した江戸時代初期の宮津城主・阿部正盛公が貞享5年(1688年)に描いたものです。



「清正公所用旗指物」

豊臣秀吉から福島正則と共に賤ヶ岳の七本槍に選ばれ、朝鮮出兵の際には虎退治を行った猛将・加藤清正公が、陣頭に立てられていた玄題旗(南無妙法蓮華經と書かれた旗)です。清正公自書の御題目を染め抜いたもので、加藤家の末裔により妙照寺に寄進されました。



・**経王寺** … 「天井雲竜図」(本堂天井絵)

宮津出身の画家で、猛虎図屏風で有名な岸駒(がんく)に師事し、丹後各地に龍や虎の作品を数多く残した和田屏山(わだへいざん)の最大の作。本堂の天井一面に描かれた迫力ある龍の姿に圧倒されます。龍神が水を司る神であるため、火災から護るという意味を込めて描かれたものと言われています。

普段から見せていただけるものですが、今回は、和火 2017 期間中(10/6～10/8 の 18:00～21:00)もご覧いただけます。(夜間の拝観を希望の場合は、お寺にお声かけください。ただし、ご対応いただけない場合もあります。また、和火 2017 開催中は演奏等催し開催により本堂前にて大きな音を出す時間帯がありますので、拝観の際はご注意ください。)



・**国清寺** … 「水呑虎に小禽図」(みずのみとらにしょうきんず)

和田屏山(わだへいざん)の作である襖絵。藪の中から水辺に姿を現し、周囲を注意深く窺いながら今まさに水を呑もうとする虎と樹上のカササギを描いた作品です。(清輝楼ホームページより)

和田屏山は、幕末丹後を代表する画家で、特に竜虎図を得意として多くの作品を残しました。下記の経王寺の天井絵(竜図)が屏山最大の作品として有名です。(2011.3 丹後地区広域市町村圏事務組合報告書「近世・近代における郷土の先覚者」より)



・**真照寺** … 「水墨画 屏風」

(狩野派 片山 尚景)

狩野探幽3兄弟の次男・狩野尚信の弟子で、妙心寺靈雲院(京都市右京区)の書院襖の山水画で知られる狩野派・片山尚景(なおかげ)の作品。

「大名行列 始終 屏風二双」

(作者不明)

「お地藏様」

全国的にも珍しい袴(かみしも・江戸時代の侍が着用した男子和服の正装の一つ)をつけたお地藏様です。普段も見せていただけますが、和火 2017 期間中(10/6～10/8 の 18:00～21:00)もご覧いただけます。(夜間は暗いため足元にご注意ください。)



- ・智源寺 … 本堂の襖絵となっていたもので、現在非公開の襖絵を、7日(土)、8日(日)のみ特別に公開いただけます。
両日とも 15:00～の間のみで、住職のご説明もいただけます。
拝観希望の場合は、宮津市観光交流センター(0772-25-1382)まで連絡をお願いします。(智源寺の襖絵拝観希望とお伝えください。拝観希望の×切は当日 14:00 まで。)

※普段から寺宝を全て公開対応しておられるお寺。

- ・大頂寺
- ・本妙寺

(3)和火開催中(10/6-8)の夜間対応(拝観、寺宝公開、御朱印)が可能なお寺
栄照院、妙照寺、経王寺、国清寺

(4)注意

- ・本企画は、オリジナル御朱印帳を購入いただくなくても、どなたでも参加いただけます。
- ・ただし、各お寺では、住職が1名で拝観対応されておられる場合があるため、法事等で不在の場合があります。拝観の際(特に御朱印を希望される際は、事前に各お寺にご連絡いただきますようお願いいたします。
- ・本企画及び御朱印はスタンプラリーではありません。拝観や御朱印の際にはマナーを守りましょう。